

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	砺波市における通学路の安全を確保するまちづくり（防災・安全）																					
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当		○								
交付対象	砺波市																					
計画の目標	通学路等における歩道の設置など、安全な歩行空間の確保を行い、安心に暮らせるまちづくりを行う。																					
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		524		A	524		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	・ 砺波市通学路安全プログラムに位置付けのある要対策箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。 砺波市通学路安全プログラムに位置付けのある要対策箇所の対応率 （対策完了率）＝（当該年度までの対策完了箇所） / （要対策箇所）	61%	72%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ １ ）小杉狐島線（ 期 ） 小杉	歩道整備 L=1.14 k m	砺波市	■	■	■	■	■	116		-
	A01-002	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ 他 ）十年明干保線 三 郎丸	歩道整備 L=1.33 k m	砺波市	■	■	■	■	■	55		-
	A01-003	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ 他 ）表町 1 0 号線外 表町	歩道整備 L=0.46 k m	砺波市	■	■	■	■	■	132		-
	A01-004	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ １ ）鷹栖高儀線（ 期 ）	歩道整備 L=0.51 k m	砺波市	■	■	■	■	■	92		-
	A01-005	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ １ ）五郎丸高儀線他	路側帯カラー舗装 L=1.26Km	砺波市		■	■	■	■	20		-
	A01-006	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	砺波地区小杉狐島線事業	歩道整備 L=0.05 k m	砺波市					■	29		-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-007	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（他）権正寺安川他 頼 成	路側帯カラー舗装 L=0.69 k m	砺波市	■					8		-	
	A01-008	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（他）矢木東石丸線	防護柵設置 L=0.59 k m	砺波市	■	■				12		-	
	A01-009	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ 1 ）駅南線他 一番町 他	歩道整備 L=0.38 k m	砺波市					■	■	60		-
	A01-010	道路	一般	砺波市	直接	砺波市	市町村 道	交安	（ 2 ）春日町永福町線	歩道整備 L=0.15km	砺波市						■	0		-
											小計							524		
										合計							524			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業担当課にて、目標の達成状況や事業効果の検証を行い、評価を実施した。

事後評価の実施時期

計画期間終了後

公表の方法

砺波市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

通学路安全対策プログラムの要対策箇所において、歩道の設置や拡幅等の対策を実施することによって、通学児童が安全に通学できる歩行空間を順次整備した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き通学路の歩行空間整備により、交通安全対策を推進するよう事業進捗に努める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	（対策完了率）＝（当該年度までの対策完了箇所） / （要対策箇所）		
	最 終 目標値	100%	関係機関との協議、調整に時間を要したことから、事業進捗に遅れが生じたもの。なお、次期計画でも事業継続し、次期計画で目標達成予定である。
	最 終 実績値	72%	